

「第 2 期 徳島県文化芸術推進基本計画（素案）」に係るパブリックコメントの実施結果について

令和 5 年 1 2 月 4 日（月）から令和 6 年 1 月 5 日（金）までの間、オープンとくしま・パブリックコメント制度による意見を募集したところ、18 名の方から 33 件の御意見をいただきました。お寄せ頂いた御意見の概要と県の考え方は、次のとおりです。

番号	意見の概要	ご意見に対する県の考え方
1	気軽に楽しめ、生活を豊かにしてくれる文化芸術は高齢者の生きがいでもありますから、触れて親しめて、参加できる場を積極的に展開してほしいです。	文化は私たちの生活に潤いを与え、人と人とのつながりや地域の連帯感を深めるとともに、ここに住み続けたいと思える地域づくりに重要な役割を果たすものです。そこで、今回策定いたします「第 2 期徳島県文化芸術推進基本計画」の中でも、施策展開「②徳島の文化を感じられる『環境づくり』」において、「Ⅰ文化芸術の鑑賞機会や発表の場の充実」を挙げ、子どもからお年寄りまであらゆる世代の方々が文化芸術活動に触れ、参加できる機会の拡大を推進することにより、県民主役の「あわ文化」が更に発展するように努めて参ります。
2	将来を担う子供達が文化芸術に触れることができる機会を充実させていただきたい。	
3	阿波踊り以外の文化にも自然と触れられるような機会があればいい。	
4	子どもが文化に触れる機会を増やしてほしい。それらに触れる機会が少なく、きっかけがない。鑑賞だけでなく、体験できるようなきっかけがあれば思い出にもなりいいと思う。	
5	ホール関係もあり、徳島県では他県に比べ演奏会等に参加する機会が少ないと思うので、文化に触れる機会を増やすことが大切だと思う。	
6	徳島県内でも市内などの中心部と郡部では、文化芸術に触れられる機会の格差があるように思うので、そのような格差が少しでもなくなるように取り組んでいただきたい。	
7	徳島文化芸術ホール（仮称）の早急な完成をお願いいたします。 あわぎんホールをサブホールに使うというコンセプトは良いのですが、肝心のホールは誰のために造るのか、できれば他県の「回転率の高いホール」に視察に行き、学んでもらえればと思います。	施策展開「②徳島の文化を感じられる『環境づくり』」において、「Ⅴ文化芸術を育む場の充実」を挙げているところであり、新ホールの早期整備に取り組むことはもちろん、既存の文化施設の積極的な活用を図ることにより、広く県民の皆様が文化に親しむことができる環境整備に努めて参ります。
8	大阪などに出て行かず徳島にいても、文化芸術を楽しむことができる新たな文化芸術ホールができることを楽しみにしています。	

番号	意見の概要	ご意見に対する県の考え方
9	方向性等に賛同いたします。ブランドといっても、継続的なアレンジを加えて若年層の心をつかむ工夫が必要かと思しますので、あまり固定化せず流動的な変容を加えることにより、広報や継承問題への効果が出ることを期待しております。	
10	アニメも新しい文化だということを、もっと分かりやすく広報してほしい。	
11	徳島の伝統文化へ積極的に参加したくなる若者を増やすためにも、まずはイメージの改善を行ってほしい。	
12	大阪・関西万博は徳島の文化を世界へPRする絶好のチャンスですから、戦略的にこの機会を活用すべきです。	
13	徳島の文化を県外の人にもPRできるような取組を行ってほしい。	
14	お遍路を、子どもからお年寄りまで体験できる文化として発信していけば観光客増加にも繋がっていくと思う。	
15	鳴門の渦潮見学や剣山登山、お遍路など、徳島の自然を体験することにより、他の文化にも目を向けてもらえるのではないかな。	
16	徳島の様々な文化をうまく観光資源に活用したらいいと考えます。	
17	音楽ホール建設を主旨として解体された「青少年センター」ですが、いまだに音楽室の代貸施設が確保されておらず、そこで練習を行ってきた楽団等は練習場所が確保できず困っております。徳島県は、吹奏楽や brass バンドを例にとっても、小学校段階では全国表彰されるハイレベルが維持できているのですが、中学校、高等学校、一般と年齢が上がるにつれ、レベルが落ちていきます。文化芸術団体の活性化については、専門性の高い人が適切に施策を考えていただきたいと切に願います。	
18	県内各地で行われている文化活動に対する支援が充実されることを望みます。	
19	伝統文化を重要と考え、関心を持ってくれる人を増やすためには、もっと広めていく必要があるのでは、強制的に知る機会を増やすような取組も必要。	
20	徳島県民が徳島の伝統文化の魅力、素晴らしさをしっかり知っておくべきである。	

番号	意見の概要	ご意見に対する県の考え方
21	県が有名なアーティストを呼んでコンサートを開催してほしい。	本県では、毎年、県民一人ひとりの幅広い文化活動への参加を促進するために「徳島県民文化祭」を開催しているところです。主催事業の「メインプログラム」においては、県民の皆様が日頃接する機会の少ない優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供しております。
22	文化ホールの活用も見据えた次世代を担う「人づくり」は非常に重要と考えます。県外・国外の方との異文化交流による関係人口・交流人口の創出から「あわ文化」の担い手の確保に繋げていただきたい。	施策展開①「徳島の文化を担う『人づくり』」において「V『徳島ファン』の拡大」を挙げ、多様な形で本県と関わる「徳島ファン」の拡大を図り、その方達に御協力をいただき、「あわ文化」の継承発展に繋げていくこととしております。そのためには、まず多くの方に「徳島ファン」になっていただく必要があります。本県の多彩な文化を、あらゆる機会を通じ発信し、国内だけでなく国外にも「徳島ファン」を拡大していくよう努めて参ります。
23	徳島県の文化が好きな県外のような職種の人達が一緒に何かできれば、徳島県を好きになる人がもっと増えると思います。	
24	イベントの開催を終わってから知ることがあります。幅広くいろんな方法で広報してほしいと思います。	県が実施する文化関係のイベントにつきましては、県の広報誌やホームページに加え、SNSなどのソーシャルメディアも活用し広報を行っているところです（参考：徳島県文化・未来創造課インスタグラム「awaculture_tokushima」）。さらに、施策展開「③徳島の文化を活用した『地域づくり』」の「IV文化芸術団体の活性化」にも挙げたように、徳島県文化振興財団が運営する「あわカル〜とくしまイベント情報〜」に、県内文化団体の情報の登録も促進することにより、県民の皆様への細やかな情報発信に努めて参ります。
25	計画を具現化させるために、しっかりと取り組んでほしいです。	計画を具現化するためにも、県はもちろんのこと、県民の皆様をはじめ各種団体など、それぞれの主体がその役割において取組を進めて行く必要があります。さらに、計画推進に向けて具体的な目標を設定し、その内容については、徳島県文化創造審議会において、毎年度検証してまいります。
26	あわ文化の魅力発信に貢献した中高生等学生に特化した顕彰制度があっても良いと思う。	県及び徳島県文化振興財団においては、文化活動に積極的に取り組み将来の活躍が期待される次代の「あわ文化」を担われる方に対して、顕彰を実施しているところであり、引き続き、本県の文化の向上発展に関し功績顕著な方への顕彰に努めて参ります。
27	阿波十郎兵衛屋敷にて阿波人形浄瑠璃公演を鑑賞したが、解説、人形遣い、三味線、太夫、すべてが素晴らしかった。文化資源としてもっと活用すべき施設だと思う。そして若い方もこの文化を伝承していくようになってほしい。	阿波人形浄瑠璃は、その振興拠点である県立阿波十郎兵衛屋敷において、毎日2回の定期公演に加え、企画公演、さらに体験教室などを開催し、多くの方々にその歴史や魅力を感じて頂ける取組を進めております。今後、徳島を代表する伝統文化である阿波人形浄瑠璃を、あらゆる機会を通じて発信し、継承・発展に繋げて参ります。

番号	意見の概要	ご意見に対する県の考え方
28	寺×音楽、庭園×お料理などのかけ算をどんどん行えば、素晴らしい文化のアップデートが可能かと考えます。	<p data-bbox="1167 459 2184 552">徳島の芸術文化振興に関して具体的な御提言をいただきまして、誠にありがとうございます。いただいた御意見につきましては、関係部局と情報共有させていただくとともに、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
29	クイズも文化と捉えると、「クイズノック」の方が徳島ゆかりの方であり、徳島と絡めたクイズ監修を依頼するなど、効果があるのではないか。	
30	文化とは人が行き来することで育まれるものだと思うので、ラッピングバス（汽車）などを活用し、人の動きも回り利便性をあげつつ、文化の醸成を期待しております。	
31	徳島のレモンワークスさんなどの作品は素晴らしく購買意欲がわいたので、もう少し大きな作品を共有し、触れられる（購入など）場所があればいいと思います。	
32	徳島は人形浄瑠璃の阿波木偶人形だけではなく、神山に戦前アメリカから進呈されたセルロイドのアリス人形もあり、人形と関わり深い地域です。マチアソビでも盛んに行われている、ぬいぐるみやドールを撮影する「ぬい撮り」を、徳島の観光資材にできないか。	
33	「マチアソビ」と並行した宿泊キャンペーン等を実施することで、多くの方に宿泊と徳島での観光を楽しんでもらえるのではないかと考えます。	